

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(児童センター)

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和元年度の事業実績		令和元年度の目標達成度		令和2年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)	達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由	
2 地域での 取組	5	13	(3)児童センターにおける読書環境の整備	三橋	児童センターにおける読書環境の整備	職員によるお話し会やボランティアによる読み聞かせ、本の閲覧や貸出しなど、来館者が楽しんで読書に対する興味がわくような取り組みの実施	おはなしの部屋の開催	B	10回実施し、幼児52人その兄弟の小学生3人保護者49人計104人の参加があり、ほぼ例年通りの参加数だった。また、夏休みに小学生対象に実施し39人の参加があった。	B	休館等があり前年度と同数の参加者は難しいと思うが、引き続き事業を継続する。	
							本の閲覧や貸出しの実施	A	年間592件の本の貸出しを行った。	B	休館等があり前年度と同数の利用は難しいと思うが、引き続き事業を継続する。	
							ボランティアによるおはなし会の実施	B	ボランティアの都合により回数が少なくなり、年間43人となったが効果があったと考えるため。	B	地域の方との貴重な交流の場であるため、回数を検討し、継続する。	
							ボランティアによる読み聞かせの実施	B	年間参加者275人でほぼ例年通りの参加者数だったため。	B	引き続き、ほぼ同数の参加者を目指して事業を継続する。	
							本の閲覧や貸出しの実施	B	年間参加者70人でほぼ例年通りの参加者数だったため。	B	引き続き、ほぼ同数の参加者を目指して事業を継続する。	
							本の読み聞かせの実施	B	参加者がいない回もあったが、児童が主体的に参加した回もあった。児童が本に興味を持ってよう、積極的に児童に働きかけていたボランティアもいた。	B	引き続き、児童の放課後の過ごし方について自主性を尊重することとし、読み聞かせへの参加も同様とする。	
							読書に関心を持つきっかけづくりとする、職員による推薦図書を紹介	B	推薦図書を7冊紹介し、幼児・児童・保護者に手に取ってもらうことができた。	B	引き続き、読書に関心を持つきっかけづくりとなるよう、事業を継続する。	
							図書の貸出しの実施	B	定期的に貸出し希望者がいるため。	B	読書環境の整備に努めつつ、事業を継続する。	
							図書室内図書の整備、希望者への貸出し	B	定期的な貸出しがあったため。	B	図書室内の整備と希望者への貸出しを継続して行う。	
							図書室・学習室の図書環境整備	B	低学年児童からリクエストのあった図書や遊びについての図書を増やしたところ、多くの子どもたちに手に取ってもらうことができた。高学年から中学生向けの読み物を増やしたりし、読書環境の整備に努めた。(9~3月は中規模修繕実施のため休館)	B	事業の中でPRやたより等の広報も活用し、引き続き読書環境の整備に努める。	
							乳幼児事業における読み聞かせの実施	B	参加した親子に本など親しんでもらえた。	B	中規模修繕のため半年間休館となるが前半は引き続き継続し、おすすめ図書の紹介をしていく。	
							ボランティアによる小学生への読み聞かせ	B	ほぼ予定回数通りに実施し、児童クラブの子どもたちを中心に、前年度と同程度の参加人数であった。	B	中規模修繕のため半年間休館となるが前半は引き続き継続していく。	
							図書の貸出し、整備、おすすめ図書の紹介	B	図書の定期的な入れ替えやおすすめの本を紹介し、乳幼児親子、小学生の積極的に、継続的な貸出しがあった。	B	中規模修繕のため半年間休館となるが前半は引き続き継続していく。	
							ボランティアによる幼児対象の読み聞かせを実施	B	週1回幼児事業の終わりに読み聞かせを実施し、固定の参加者を獲得。	B	毎回楽しみにしている親子がいるため、今後も継続する。	
							ボランティアによる小学生対象の読み聞かせを実施	B	放課後児童クラブの子ども達を中心に定着。	B	毎回楽しみにしている子ども達がいるため、今後も継続する。	
							図書の貸出しの実施	B	貸出しの利用が継続的にあった。	B	引き続き実施していく。	
							乳幼児事業の中で読み聞かせの実施	B	親子で絵本を楽しんでもらい、興味を持ってもらえた。	B	引き続き実施していく。	
							幼児を対象としたボランティアによる読み聞かせの実施	B	年間参加者134人で、例年通りの参加者数だったため。	B	引き続き、昨年度と同様の参加者数を目指し、事業を継続していく。	
							小学生を対象としたボランティアによる読み聞かせの実施	B	放課後児童クラブ在籍児童向けに実施。毎月楽しみに参加しているため。	B	引き続き、昨年度と同様の参加者数を目指し、事業を継続していく。	
							図書の貸出しの実施	B	建物内に市の図書館があるため利用は多くないが、継続的な利用はみられるため。	B	引き続き、図書の貸出しを実施し、気楽に本に親しめる環境づくりを心がける。	
ボランティアによる幼児対象の読み聞かせの実施	B	年間10回、122人の参加があり、楽しみに来館する親子が増えた。	C	ボランティアの都合により、令和元年度に終了。								
図書の貸出し	B	利用者にニーズのある図書や新刊を購入し、貸出し希望が増えた	B	引き続き継続していく。								
おすすめ図書の設置	B	季節に合った本や、おすすめの本を設置したことで、その本に親しむ姿が多く見られた。	B	引き続き、季節に合った本や新しく購入した本など、おすすめの本を設置する。								
乳幼児と保護者向けの「ぶちおはなし会」の実施	B	中規模修繕のため、半年間休館となったが、上半期は157名の参加があり、父親の参加も増えた。	B	引き続き、一年を通して同様の事業を実施する。								
ボランティアによる乳幼児と保護者及び小学生向けおはなし会の実施	B	中規模修繕のため、半年間休館となったが、上半期だけで235名の参加があり、人気の事業であることが窺えた。	B	引き続き、一年を通して同様の事業を実施する。								
図書の貸出しの実施	B	中規模修繕のため、半年間休館となったが、上半期は図書の貸出しを行った。	B	引き続き、一年を通して図書の貸出しを行う。								
読み聞かせボランティア「おはなしダンダン」による、乳幼児と保護者、児童向けの絵本の紹介と読み聞かせの実施	B	毎月1回実施することで、243人の参加があり、繰り返し来てくれる親子が増えた。	B	広報紙等で広く周知し、引き続き継続する。								
読み聞かせボランティア「民話の会」による児童向けお話しひろばの実施	B	毎月1回実施することで、放課後児童クラブや一般児童を対象に115名の参加があった。	B	広報紙等で広く周知し、引き続き継続する。								
乳幼児事業における絵本や紙芝居の読み聞かせの実施	A	親子で一緒に絵本や紙芝居を楽しむ機会を作ることができた。	B	引き続き読み聞かせ事業を展開し、年齢に添った内容を充実させる。								
職員のお勧め図書の掲示、図書の貸出しの実施	B	親子で読み聞かせをしている姿や図書の貸出しの利用もある。	B	図書の貸出しのPRを強化し、引き続き貸出しを実施する。								
ボランティア「はらっぱ」「ゆめのはこ」による絵本の読み聞かせとわらべ歌遊びの実施	A	毎月1回ずつの実施だが、年間424名の参加があり、毎回参加をする親子が増えた。	B	参加者の定着率向上を目指し、引き続き事業を展開する。								
新規図書の購入および経年劣化した図書の廃棄等、図書整備の上、自由閲覧および希望者への図書の貸出しをした。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は休館となったが、継続的に利用があった。	B	引き続き実施していく。								
ボランティアによる読み聞かせ「絵本の会」「おはなしトランプ」を実施。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は休館となったが、参加者数は前年度と同程度であった。	B	引き続き実施していく。								

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(児童センター)

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和元年度の事業実績		令和元年度の目標達成度		令和2年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
				大久保東		ボランティアによる乳幼児親子向けの読み聞かせ「おはなし会」の実施	B	夏休み中の8月以外は毎月1回、計画通りに実施できた。	B	月1回(8月を除く)実施していく。		
				岩槻		幼児向け事業内での職員による絵本や紙芝居の読み聞かせ(毎日)実施	B	予定回数通り実施し、想定通りの効果があった。	B	引き続き実施していく。		
				仲本		ボランティアによるおはなし会(月1回)の実施	B	11回実施し、101人の参加があった。	B	引き続き実施していく。		
				尾間木		地域ボランティアによる、おはなし会を毎月実施	B	毎月、乳幼児親子の参加が多く、長期休み中は、小学生向けにも2回開催し、小学生の参加も多くなりました。	B	おはなし会の時間を変更し、より多くの乳幼児親子の参加を目指し引き続き、継続していく。		
						乳幼児向け事業の中で、絵本や紙芝居の読み聞かせの実施	B	新しい絵本も多く購入し、読み聞かせの時間を充実させることが出来た。	B	引き続き実施していく。		
						図書の閲覧	B	図書の購入と図書の分類を行い選びやすくしたため。整理整頓に努めているため。	B	ゆったりとした環境で読書を楽しんでもらえるよう、スペースの確保を工夫している。		
						乳幼児向け事業での読み聞かせの実施	B	年齢別事業などで各回平均34組の参加があったため。毎回読み聞かせの時間を設けているため。	B	引き続き実施していく。		
						ボランティアによる小学生向けのおはなし会の実施	B	年間10回実施し133人参加しているため。	B	引き続き実施していく。		
					推薦図書と新刊の設置と案内	B	話題の図書や新刊コーナーを設置したため。	B	利用者の声を参考に継続していく。			
					ボランティアによる読み聞かせの実施	B	公民館との共催事業とし、年間17回実施し、842人参加しているため。	B	引き続き実施していく。			